

めぐみ行動日誌 (2018.11~12)

議会関係所属委員会 / 厚生保健委員会、行財政改革・大都市制度調査特別委員会、議会改革検討会議委員
基地対策協議会代表委員

11月

- 1日 久保田翠 芸術選奨文部科学大臣新人賞 受賞記念祝賀会
- 2日 厚生保健委員会
浜松出身シンガー・ERIKO CLUB設立パーティ
- 4日 緊急消防助隊中部ブロック合同練習
- 6日 稲村和美尼崎市長へのヒアリング(尼崎市)



●稲村和美尼崎市長と
稲村和美尼崎市長(46歳)から1時間半びっしり尼崎市政についてお話を行った。
特に、不登校や児童虐待、発達障害やその疑いがある子どもに対し、福祉、保健、教育などが連携して切れ目のない支援をする「子どもの育ち支援センター」、中高生を対象としたユース交流センターについて、聞かせていただいた。稲村市長は思い熱く、しなやかなリーダーで、縦割り組織を横刺ししていくのは、市長の想いがあるからこそ、できたこと。ちなみに、稲村市長は、昨年11月18日の選挙で再選され、現在3期目。

- 8日 浜松国際ピアノコンクール歓迎レセプション



●第3次予選まで残ったロシアのアンドレイ・ゼーニンさんと

- 14~15日 社会保障フォーラム(東京)
- 16日~ 11月議会
- 12月13日
- 26日 浜松の大停電を語ろう会~防災まちづくり~
- 27日 都市・街でSDGsをカタチにする

12月

- 1日 めぐみのハッピーネット 全員集合



- 5日 厚生保健委員会
- 9日 湯川れい子さんと語る子どもたちの未来
- 12日 福祉を考える会と遠州鉄道さんとの情報交換会



●福祉を考える会と遠州鉄道さんとの情報交換会
今回で9回目の障がいのある方や支援者の会「浜松の福祉を考える会」と遠州鉄道さんとの情報交換会。遠州鉄道から5名、市から、UD課・交通政策課・障害保健福祉課・公共建築課・道路企画課から9名、福祉を考える会からは25名参加(車椅子ユーザー、事業所、保護者、相談支援者など)。私は、コーディネーター役。くるるの廃止で福祉交流センターへのバスでの移動どうしたらいいか、バス内の車いすの輪留めの仕方の確認、知的障がいの方がバス内で起こしたトラブルを解決するためにどうしたらいいかなど、意見交換した。

一人ひとりのHAPPYのために

鈴木めぐみは、どの政党にも所属していません。
鈴木めぐみは、市民のための議員を目指しています。

めぐみProfile

- 1961年 浜松市鴨江生まれ、射手座B型
静岡県立浜松北高等学校、中央大学文学部卒業。
自動車販売会社にて、女性営業職第1号として
バンバン車を売る。長男出産後、女性、子育て、まちづくりの市民活動に参加。
- 99~2011年 浜松市議会議員
- 2011年~ 子ども・若者支援のNPOスタッフ
- 2015年~ 浜松市議会議員(中区選出)4期目



浜松Happy化計画 レポートPart2 Happy plan for Hamamatsu!!



誰一人取り残さない社会へ

平成最後の年が明けました。新たな年は、誰一人取り残さない社会への一歩の年としたいです。



区の再編と住民投票

さて、今年4月には、市長選、県議選、市議選、そして「区の再編に関する住民投票」の4つの投票が予定されていますが、ご存知でしょうか？

人口減少・超高齢化、社会保障費の増大、インフラの老朽化などを克服し、浜松市政を健全で持続可能なものとするために、そして今後の行政サービスの維持・強化策について検討を進めるために、議会の特別委員会にて区の再編を検討してきました。しかし、最終的な結論のとりまとめになりませんでした。

11月議会に市長から区の再編に関することを住民に聞きたいと、住民投票をする提案がなされ、議会での修正を経て、住民投票実施となりました。

私は、区の再編そのものには反対するものではありません。しかし、直接的に区の再編に関係のある、合併した市町村と旧浜松市民とでは、関心度合いが大きく異なるにも関わらず、人口が多いが関心が薄い地域の票で左右されてしまうなどの課題が多い、今回の住民投票には反対しました。

さて、提案された新3区案(浜北区、天竜区、それ以外)は、年間削減額7億円で、9.5万人、3万人、67.1万と人口バランスが悪い案です。11月議会の一般質問で、新3区案の将来ビジョンを聞いたのですが、「今回の区の再編は、区役所の再統合であり、地域を変えるものではない。現在区で実施している事業は継続していく」との答弁でした。これって、将来ビジョンなのでしょうか。私は新3区案には、賛成できません。

「区の再編に関する住民投票」は、新3区案(浜北区、天竜区、それ以外)に対して、賛成か、反対か。次に、反対とした方だけ、区の再編そのものに賛成か、反対かを聞くものです。複雑でわかりにくいので、資料を持って、説明に伺います。お気軽にお声かけください。

水道を民営化(運営委託方式)していいのだろうか？

国会で水道法改正法案が可決され、水道の民営化への道が開かれた。浜松市では、先んじて水道民営化(運営委託方式)の導入を調査・検討している。果たして、民営化すべきなのだろうか？

浜松市が検討をしている運営委託方式は、これまでの業務委託とは大きく異なり、運営責任は民営企業に、そして水道料金はそのまま企業に入る。市は管理監督責任を持つことになるが、20年以上におよぶ民間への運営委託では、水道事業に精通した職員が育たない可能性がある。その時に適切な運営がどうか判断できるかどうか。海外では、一度民営化した水道事業を公営にもどしているケースは多い。

水は、市民の生活や経済活動を支える重要なライフライン。民営化には、ほかにも多くの疑問、課題がある。本当に水道の民営化していいのだろうか、一緒に考えませんか？

浜松市議会議員 鈴木めぐみ

編集・発行 めぐみ応援・浜松市政向上委員会

浜松市東区半田山 2-5-10 TEL/053-431-1511
MAIL/megu@megumi-happy.net FAX/053-544-5451
HP/www.megumi-happy.net ※めぐみ応援会員募集中・内部資料

鈴木めぐみ選挙事務所
浜松市中区上島4-22-21
鈴木めぐみ自宅
浜松市中区曳馬 6-5-17
TEL/090-8672-8534



11月議会
めぐみの
一般質問

「ヤングケアラー」の存在を知ってもらいたい！

めぐみ質問！ 「ヤングケアラー」とは、家族にケアをする必要があるために、家事や家族の世話、介護などを行っている18歳未満の子どものこと。親や兄弟が慢性的な病気、障がい、精神的な問題を抱えているために、未成年であっても、大人が担うようなケアの責任を引き受け、家族の世話の世話をする状況が生じている。そのため、遅刻や不登校、宿題ができていないなどの状況に繋がることがある。課題として、「周りが大変さに気がつかない」「社会経験が少ないため、相談先、相談方法がわからない」「支援につながらない」など。まず、教員や子どもにかかわる人たちに「ヤングケアラー」の存在を知ってもらうための啓発活動について、どのように考えているか。

● 答弁
若者の課題を協議する場である「浜松市若者支援地域協議会」や障害や介護など福祉の関係機関が関係する会議、スクールカウンセラーへの研修会などを利用し、「ヤングケアラー」の存在を周知していく。

【めぐみ意見】
今回は、「ヤングケアラー」「ケアラー」という言葉を知ってもらうことが目的だった。職員は、短い間に「ヤングケアラー」について、調べてくれたようだ。DVとか、児童虐待もそうだけど、名前がつくことで課題認識が深まる。子どもに関わる人たちみんなに、ヤングケアラーのこと、知ってほしいなあ。

家族介護を担う、ヤングケアラー



医療的ケア児者支援の充実を！

めぐみ質問！ 近年、医療の進歩により、医療的ケアが必要となる子どもが急速に増えている。以前なら、人口呼吸などの医療的ケアの必要な子どもはずっと入院していなくてならなかったが、現在は在宅で医療的ケアを必要な子どもを親がみている。親、特に母親は、子どもの医療的ケアを一身に背負い、安心して眠ることができず、社会から見捨てられたような、先の見えない日々を過ごしている。そこで、保育所や福祉型児童発達支援センターでの医療的ケア児の受け入れの拡充をしないか。また、医療的ケア児者に対する関連分野の支援を調整するコーディネート機能を持つ(仮称)重症心身障害支援センターの設置をするつもりはないか。

● 答弁
浜松市では、平成28年に肢体不自由で、身体障害者手帳1、2級529人を調査した結果、300人の有効回答のうち、107人が医療的ケアが必要と答えている。医療的ケア児者が増加する一方で、支援する人材が不足しているなど、対応可能な相談支援事業所や障害福祉サービス事業所が十分な状況にない。今後、医療的ケア児者への支援に対して「重心児者及び医療的ケア専門部会」で意見を聞き、他都市の状況について調査研究していく。

市役所を市民に使いやすく、わかりやすく。

めぐみ提案！ 「ぶしょったい」市役所本館を市民に使いやすく、わかりやすくして欲しい。例えば、ポスター。いつから貼られていたかわからない、破れたポスター、ゴミ散乱のポスターの横に119番のマナーのポスター、その隣には、ささえあいポイントのポスターと、脈絡のない貼り方がされている。今回の質問の下打ち合わせをしたところ、あらあ次の日にはそうしたポスターは剥がされていた。チラシも様々なところに置かれ、本当に市民が手に持ってほしいと思っているのか、不明。案内表示に関しても、一体感がない。椅子の広告も相まって、乱雑となり、本当に市民に伝えたい情報がなんなのか、わからない状態だ。市役所本館1階部分の改善について、どのように考えているのか。



● 答弁
今後は、本館1階フロアのあり方を再考し、電子掲示板の導入など、案内表示を工夫していく。

【めぐみ意見】
市役所本館1階だけでなく、1階以外の市役所や区役所、協働センター、の使いやすい、わかりやすい施設となるよう、考えてもらいたい。

放課後児童会のあり方を検討すべき。

めぐみ質問！ 児童会ごとに保護者負担金が異なっている(月額2200円から8200円)を今後どのように統一していくか。また、放課後児童会の検討会をつくり、保護者負担金をはじめ、保育の内容も含む事業全体のあり方を検討つもりはないか。

● 答弁 - 検討会をつくる
地域や保護者の代表、有識者など、様々な立場の方から意見を伺うための検討会を設け、放課後児童会の支援員の処遇や開設時間など、委託する運営内容を明確にしていく。不統一である利用料金については、市と利用者の負担割合を含め、検討していく。

その他の質問▶

- 中高生の居場所づくりについて
- 一人目の子育てからちゅうちょなく、支援サービスを使える方策について
- 障がい者の移動支援などのヘルパー不足をどうしていくか
- 医療的ケア児者の停電時の電源確保について
- 区の再編の新3区案のまちづくりの将来ビジョン、区役所の役割について

もっと使って欲しいな！

数字は語る！

10件

平成29年度産後ケアを利用された件数
産後ケアとは、出産後の生活をスムーズにスタートするため、市内の医療機関・助産院で、宿泊や日帰りでお母さんの身体のケアや、授乳指導・育児相談等を受けることができる事業。

89件

平成29年度はまずヘルパーの新規利用
はまずヘルパーは、妊娠中や出産後に家事や育児のサポートを受けることができる事業。